

第1回 学校運営協議会 議事録

校名	府立淀川清流高等学校
校長名	荒川 誠二

開催日時	令和7年6月7日(土) 10:30～12:00
開催場所	大阪府立淀川清流高等学校 校長室
出席者(委員)	白木原 亘 会長、荒木 和敏 副会長、國守 正二 委員 高元 伊智郎 委員、中島 陽子 委員
出席者(学校)	校長 荒川 誠二、教頭 岡田 好功、教頭 松本 秀樹 事務長 橋本 博之、首席 高橋 健一、首席 松村 吉博
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度 学校経営計画及び学校評価 など
備考	

議題等(次第順)

- ・校長挨拶 ・委員自己紹介 ・会長および副会長の選出
- ・協議 ①令和7年度 学校経営計画及び学校評価について(荒川校長より)
②卒業生(5期生)の進路状況について(松本教頭より) ③生徒の状況について(松本教頭より)
④広報活動について(松本教頭より) ⑤質疑応答
- ・次回の日程確認

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ①令和7年度 学校経営計画及び学校評価について(荒川校長より)⇒承認
○スクールミッション、スクールポリシー、本年度の取り組みについて説明。
・エンパワメントスクールとして、一人ひとりの力を引き出し、社会的・経済的・精神的に「じりつ(自立・自律)」できる人物を育成すべく様々な教育活動を行っている。
・本校に通う生徒は、様々な(生活)背景を抱えており、学校だけでなく、普段の生活環境についても考えなければならないことが多い。
・令和7年度からは、そのための外部人材の活用ということで、本校がスクールソーシャルワーカー(SSW)の拠点校の役割を担うことになった。スクールカウンセラー(SC)については、昨年度と同じように本校に来て、生徒の相談にのってもらっている。
・授業については、ICT機器などを活用し、各教員が生徒の学ぶ意欲を引き出せるよう工夫しているためか、授業に対する評価が年々高くなっている。
- ②卒業生(5期生)の進路状況について(松本教頭より)
○昨年度卒業生の進路状況の確認。
・進学した生徒、就職した生徒、全体としては進学と就職の割合は、ほぼ1:1になっている。
- ③生徒の状況について(松本教頭より)
○昨年度までの欠席者・遅刻者の状況、クラブ活動状況についての確認。
・遅刻の件数と欠席の件数は関係性があることが多く、遅刻がやや増加傾向であったが、欠席数は減少しており遅刻しなくても登校しようとする姿勢がみられているのではないかと考える。
→休まずに遅刻してでも学校に来るとするのは良い方向ではないか。
→クラブの加入状況をみると、学年を重ねるにつれ増加しており、全体の加入率も年度を重ねるごとに増加している。これはとてもいいことだと思う。
- ④広報活動について(松本教頭より)
・出前授業の依頼やPRの依頼が本校に届いたものは、すべて対応するようにしている。
・今年度も、7月27日にインテックス大阪で開催が予定されている大阪府公立高校の進学フェアに参加し、各地区で予定されている学校説明会にも参加させていただきたいと考えている。
→学校のPRにSNSを使ってはどうかという意見が出ているということで、Instagramを再開してみる予定との話があったが、今の中学生はTikTokの方を主で活用しているのではないか。
(回答)過去にInstagramを使っていた経緯がありそこから再開できればという経緯がある。TikTokが良いのか、Instagramが良いのか、また生徒に聞いてみたいと思う。
→中学校に訪問するときには卒業生の状況など生の声があった方がいいと思う。

次回の会議日程

日時	令和7年10月10日(金) 15時30分～
会場	大阪府立淀川清流高等学校 校長室